

令和4年度

小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会

(第1回)

日 時	令和4年6月2日(木)
	午前10時00分から11時15分
場 所	小牧市役所 本庁舎 3階301会議室

令和4年度第1回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会

	日 時	令和4年6月2日（木）午前10時
	場 所	小牧市役所本庁舎 3階301会議室
学識経験者	愛知文教大学 特任教授	副島 孝
教育関係者	小牧市小中学校校長会 代表	中川 裕子
	小牧小学校 校長	岩瀬 将之
	三ツ渚小学校 教頭	西澤 克美
	小牧小学校 学校地域コーディネーター	佐橋 明味
	篠岡小学校 学校地域コーディネーター	渡邊 祐子
	小牧原小学校 学校地域コーディネーター	坪内 里枝
児童福祉関係者	小牧市社会福祉協議会 代表	山田 好広
	三ツ渚児童クラブ 所長	近藤 明美
	味岡児童クラブ 所長	竹脇 一美
	光ヶ丘児童クラブ 所長	柿本 美津江
	味岡児童館 館長	野地 優香理
地域住民	小牧原小学校 P T A母親代表	森 真樹
	光ヶ丘小学校 P T A母親代表	中島 亜子
欠席委員	小牧市教育委員会 教育委員	伊藤 和子

## 【事務局】

皆様おはようございます。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから令和4年度第1回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会を開催させていただきます。私は本日の司会を務めさせていただきます、こども政策課長の伊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは資料の確認をさせていただきます。事前に配布しました資料といたしまして、次第が1枚。資料の1といたしまして、小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会委員名簿、資料の2-1といたしまして小牧市放課後子ども総合プランと書いたもの、資料の2-2といたしまして、小牧市放課後子ども総合プランの概要、そして資料2-3、小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会、運営委員会検討スケジュール、資料2-4、令和4年度小牧市放課後子ども総合プランの実施スケジュールということで3枚です。最後に資料3といたしまして、小牧市放課後子ども総合プランに関するアンケート、また、本日追加で配布をさせていただいております資料につきましては、一つ目の小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会設置要綱、合同の体験活動の確認についてということで、右肩に参考となっているもの、今年度から新たに委員をお願いする方もお見えですので、本委員会における昨年度までの検討内容をまとめたものを参考として配付させていただいております。令和3年度小牧市放課後子ども総合プラン事業実施報告書、小牧市放課後子ども総合プラン合同体験活動実施マニュアル令和4年4月1日版、最後に、令和3年度講師活用一覧というもの両面のものになります。資料の不足がございましたらお知らせください。よろしかったでしょうか。

それでは進めさせていただきます。

本委員会につきましては、前身であります小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会の令和元年度第1回委員会において公開することを、決めさせていただいておりますので、今年度以降も同様に公開とさせていただきます。

本日は傍聴の申し込みはございません。

また、会議の定足数につきましては、本日お配りしました要綱の第5条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数以上の出席が必要とされております。本日は14名の方が出席されており、会議として成立することをご報告いたします。なお、教育委員の伊藤委員におかれましては、公務の都合により、本日欠席のご連絡を受けております。

それではここで、こども未来部長の鍛冶屋よりご挨拶申し上げます。

## 【部長あいさつ】

皆さんおはようございます。

本日は御多忙中にもかかわらず、第1回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。

また、日頃は、小牧の子どもたちのために地域、学校においてご尽力をいただいております。感謝申し上げます。

小牧市放課後子ども総合プランにつきましては、令和元年7月に第1回目の導入検討委員会を開催し、令和2年度まで延べ8回の委員会を開催し、委員の皆様方から様々なご意見をいただきながら検討を進めて参りました。令和3年度からは、導入検討委員会から運営委員会として、昨年度は、小牧小学校、光ヶ丘小学校の2校でモデル事業を実施し、その評価検討を踏まえて、令和3年度以降の事業計画を検討していただきました。今年度は新たに4校を加え、6校で総合プランを行う予定となっています。

今年度の運営委員会におきましても、委員の皆様方のそれぞれの立場から、放課後子ども総合プランについてご意見をいただき、今までの検討の流れを踏まえた評価検討を行っていきたいと考えておりますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

## 【事務局】

それでは次第の2、委員の皆様の委嘱または任命を行います。

資料1をご覧ください。

昨年度は、小牧小学校、光ヶ丘小学校におきまして、モデル事業を実施して、その評価検証を行いました。今年度は、小牧、光ヶ丘小学校に加えまして、三ツ淵小学校、味岡小学校、篠岡小学校、小牧原小学校の6小学校にて実施をし、その評価検証を行うこととしております。つきまして、6校の関係者の方に委員に加わっていただいております。

資料1の名簿をご覧ください。今年度からは、6校の関係者の方に加わっていただきまして、運営委員会を進めて参りたいと思っております。新たな委員の方に係る要綱第3条第2項の委員の委嘱または任命につきましては、本来であればお1人お1人に委嘱状または任命書を交付させていただくところですが、本日は、お手元の方に置かせていただくことで交付にかえさせていただきます。

次に、委員の皆様をご紹介させていただきます。

令和4年度、最初の委員会ですので、本来であれば全員の方にお一言いただくところですが、新型コロナウイルス感染症の状況もございますので、資料1の配布に代えさせていただきます。

今年度新たに委員となられた方をご紹介させていただきます。

三ツ淵小学校教頭の西澤克美様、

篠岡小学校学校地域コーディネーターの渡邊祐子様、

小牧原小学校学校地域コーディネーターの坪内里枝様、

三ツ淵児童クラブ所長、近藤明美様、

味岡児童クラブ所長、竹脇一美様、

味岡児童館館長野地優香理様、

小牧原小学校PTA 母親代表森真樹様、

光ヶ丘小学校PTA 母親代表中島亜子様です。よろしくお願いいたします。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

こども未来部長の鍛冶屋です。

同じく次長の川尻です。

学校教育課管理指導主事兼主幹の采女です。

放課後子ども総合プランコーディネーターの舟橋です。よろしくお願いいたします。

関係する係長が本日出席をさせていただきます。

なお、この放課後子ども総合プランの事業につきましては、主にこども政策課、子育て支援係でこれまで事務を担当させていただきましたが、今年度より青少年育成係の方で実施をして参ります。

それではこれからの進行につきましては、副島委員長にお願いをいたします。

## 【副島委員長】

それでは、私の方で進行させていただきます。お手元の次第に基づいて会議を進めたいと思っております。

まず、1の小牧市放課後子ども総合プランについて、事務局から説明をお願いします。

## 【事務局】

議題（1）の小牧市放課後子ども総合プランについてご説明いたします。

資料の2-1をご覧ください。

小牧市における放課後子ども総合プランについてまとめたものになります。

目指す姿を「すべての児童が放課後を、安全安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができるよう、児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営し、児童にとってよりよい学びの場や居場所を提供する」こととしております。

この目指す姿に対しては、平成30年6月から児童の放課後のあり方に関する検討部会、令和元年6月から小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会においてご検討いただき、それぞれの提言をもとにして、現場の創意工夫と関係者の支援により、令和3年度にモデル事業として、小牧小、光ヶ丘小で実施いたしました。

児童クラブは、毎週月曜日から土曜日、保護者が労働等により、昼間家庭にいない児童が参加できる遊びや生活の場として、宿題や読書等を行っています。放課後子ども教室は、月に3回程度、希望する児童が参加できる安全安心な活動拠点として、読み聞かせや工作等を行っています。

そして児童クラブ・放課後子ども教室合同の体験活動として、学期に2回程度、放課後子ども教室が実施している体験活動をベースに、様々な講師・ボランティアによる多様な活動を実施し、児童の健全な育成を図る場として小牧市放課後子ども総合プランを実施します。

これらの活動の従事者としては、児童クラブは、所長、指導員、支援員がおり、放課後子ども教室は、学校地域コーディネーター、安全管理指導員がおり、合同の体験活動を実施するにあたっては、児童の放課後子ども総合プランコーディネーターが両者間の調整を行います。

また、従事者を支える体制としては、学校やボランティア団体等及び市の関係機関、市全体の評価・検証の場として、総合プラン運営委員会、つまり、本委員会を、学校ごとの情報交換などの場として、総合プラン協議会を設置することとしております。

小牧市放課後子ども総合プランの実施にあたっては、国が示す運営委員会及び協議会を効果的に運営し、評価・検証を行うことが必要と考えられます。運営委員会及び協議会の設置につきましては、小牧市では、関係者への業務負担となることも踏まえ、既存の組織を、有効に活用しており、具体的には、運営委員会は、以前の導入検討委員会を引き継いでおります。また、協議会は新たに作るのではなく、既存の学校運営協議会において、代替することとしております。

資料の2-2については資料の2-1の内容を、利用者への周知向けとして作成したものです。

続きまして資料の2-3をご覧ください。こちらは令和元年度からの小牧市放課後総合プラン導入検討委員会以降の検討状況をまとめています。

令和元年7月から延べ8回にわたる委員会で、小牧市放課後子ども総合プランに関する提言書をおまとめいただきました。令和3年度より委員会名称を運営委員会に改め、本年度は3回の委員会により、事業の評価及び令和5年度以降の事業内容を検討していただく予定です。昨年度本委員会を取りまとめたものが、本日机の上に配布させていただきました「令和3年度放課後子ども総合プラン事業実施報告書」及び「合同の体験活動マニュアル」になります。

次に、資料の2-4をご覧ください。こちらは令和4年度のスケジュールとなります。

まず、1運営委員会として、本日6月2日に第1回目、11月中旬ごろに第2回目、2月初旬後に第3回目を予定しております。

次に2協議会ですが、先ほど少し説明いたしました。国が示す総合プラン協議会の代替として、既存の各校の学校運営協議会にて情報交換等を行うものであり、こちらは、主には地域コーディネーターさんが委員として参加しておりますので、総合プランの報告などを行っていただきます。令和4年度の実施時期は、後日実施校である学校と調整をさせていただきたいと思っております。

次に3合同の体験活動としては、1学期に2回程度、2学期は3回程度、3学期は2回程度を予定しております。詳細につきましては、後でご説明いたします。関係者アンケートにつきましては、本運営委員会で評価を行うための資料として、9月から11月初旬頃に各校2回程度実施する予定であります。内容については、後でご説明いたします。11月の2回目の委員会に集計結果をお示しできるように進めたいと考えております。

次に4令和5年度事業の対象校の選定としては、各学校の状況を見ながら、事務局にて選定を進め、対象校と調整を進めていきたいと考えております。予定としては、令和5年度は6校を増やし

て、全部で12校で実施する予定です。

最後に、5令和5年度事業に係る予算要求としては、事務局にて、予算要求を行います。

一番下の※1として、令和4年度の本委員会ですが、6校の実施校に対して、関係者アンケートの結果や現場訪問、委員会での意見等を参考に評価検証を行います。その結果により、活動マニュアルの修正、予算要求、令和5年度事業の方向性を決定していきたいと考えております。

本日、机の上に置かせていただきました資料として、「令和3年度講師活用一覧（実績）」というものがありますけれども、参考資料ということで、放課後子ども教室の講師の一覧が載っているものになりますが、こちらは、昨年度の委員会の中で、説明いたしました、放課後子ども教室の会議の際に配布している講師活用一覧となります。こちらに、総合プランのものも記載してあり、毎年毎年、記載の講師が追加されていくものになります。参考にお配りさせていただきました。

説明は以上となります。

### 【副島委員長】

今、小牧市の放課後子ども総合プラン、それからこれまでの経緯が説明されましたけど、先ほど、新たな委員が紹介されたように、今日副委員長の伊藤さんが欠席ということで、14名中8名が新しい方ですね。だから、前からの委員さんよりも、新たな委員さんの方が多いということです。説明されても、何のことかという人も当然いると思うので、遠慮せずに、いろんな意見を出していただければいいと思います。

もちろん小牧市放課後子ども総合プランは、基本的にやらなきゃいけないと国から出てきたものですけど、小牧市は児童クラブも放課後子ども教室もそれなりにずっと長い間やってきた実績がありますので、それを踏まえて、ガラッと新しくするのではなく、今までのそれぞれのものは大事にしながらでも、それにプラスするために、年に何回か合同で、やれるような取り組みをして、お互いに刺激し合いながらやっていきましょうというものですから、特別なものではないですが、今まで通りにやってればいいというものでもないということで、ぜひいろんな意見をいただいて、よりよいものにしていくというスタンスでやっています。

私も初めの頃からこの委員会に参加していますが、取りまとめのポリシーとしては、全員一言は、何か言って帰っていただきたい。何か発言をして帰っていただきたいと思います。

ぜひ、この場でいろいろっていただきたいと思っています。

それでは、何かご意見とかご質問だとか、これはどうなってるのとか、そういう話があれば、ぜひ出していただきたいと思います。

今の事務局の説明だけで、全部わかりましたっていう人は多分いないと思います。それでわかったという人は多分何もわかってない人だと思いますので、ぜひ、これはどういうことなのか、こういう時にはどうしたらいいのですかとかいうことで結構ですので、ぜひ発言をお願いしたいと思います。

### 【山田委員】

先ほども事務局の方にお伝えしたんですが、ネットでこの放課後子ども総合プランというのを調べていましたら、日進市がユーチューブで、非常にわかりやすい動画を発信していました。この児童クラブと放課後子ども教室の比較、お金の件、書類の書き方など、15分ぐらいの動画を2本出しています。自分も見て、非常にわかりやすく説明も優秀だなと、ちょっと感心しました。小牧市も非常にホームページだとかいろんなものが充実していますが、そういったことで、結構若いお母さんには、いつでもそれを見ると、そういうことなんだとか、そういうシステムなんだということ、わかりやすいと思います。何かで紹介していただくと、近くの市でいい取り組みをやっていますので、初めての方もそれを見ると、わかりやすいと思います。ぜひ見ていただくといいなと思って提案させていただきます。

## 【副島委員長】

今のお話は、その通りだと思います。多分、今日は学校の校長先生や教頭先生それから PTA の方々も来てみえると思いますが、なかなか全員に浸透しないというのはあると思うんですね。学校は、基本的にはプリントという紙の資料で、やってきた歴史がありますが、それだけでは伝わらないというのはあると思いますので、そういうことも含めて、いろんなことをやっていくことが必要です。今は、小牧市だけじゃなくて全国、ICTを活用して、どうしていくか、授業だけではなくてすべての学校運営だとか、全部含めてというような時代になっていますので、そういうことも検討していくことが大事だと思います。

そして、皆さん、多分そのユーチューブを見てないので、これどういうことというところがいくつかあると思うんですね。自分が疑問に思うところは他の人も大抵わかってないところだと思います。

昨年度から実質的にモデル校を作っていますので、そういう中で、いろんな話が出てきたのは、皆さん一番関心のあるのは、お金だなというのはつくづく思いました。合同の活動をやる時に、どういう講師なのか、団体の謝礼はどうしたらいいとか、そういう話がたくさん出てきましたね。

それから、講師を探すのが大変だから、リストを作って欲しいとか、そういうのがあって、今日も講師一覧表が出ています。

実施校が増えて、全校で実施という形になります。そうなった時には、モデル校の時のように回っていたというようにはいなくなる可能性がありますよね。小学校 16 校全部で始めるといって、講師の取り合いだとか、そういう話になるに決まっているわけで、そういうことも含めて、いろいろやっていかなきゃいけないというふうに思います。もうそろそろ、全校で実施するというのも頭の隅に置きながら、今年どうやってやっていこうというような話をしていけないといけない、そういう段階だと思います。

基本的には、「合同の体験活動をやろう」、「どういう活動ができるかな」、「誰かそういうのを指導してくれる人はいないかなあ」というような気持ちを持っていると、私の経験で言うと、絶対見つかります。誰かに紹介してもらえないかなと思っているうちは 100% 見つかりません。こういうことをやって子どもを楽しませてくれて、子どもに経験をさせてくれるような方がいないかなあと思っていると、例えばテレビで同じニュース番組を見ていると、ピンと来るときがあるんですよ。それから、新聞でもネットニュースを見てると、ピンと来るときがあるんですよ。そういう前提がないと絶対見つからないんです。だから、ぜひ、1 年終わると、こんなにいっぱい候補がいるんだねというようになると、一番いいかなと思います。ぜひ、誰かに探してもらおうとかいう発想も大事だけど、自分から、そういう人本当にいないかなあと思って、過ごしていただけるとすごくありがたいなと思います。

## 【近藤委員】

実際もう活動を始めていて、一番困ったなと思っていることが、購入の部分です。今までやってみえた地域コーディネーターさんたちのやり方と、私たちの市費で買うやり方が全く違います。こちらからやる場合だと、購入先が決まっているので、ほしい物が買えない、また、それを探しましょうかとなります。となると値段が格段と違ってきちゃうっていうところで、また 1 からやり直して、コーディネーターさんが考え直してくださるところがあって、他のクラブさんでもそういう声を聞いていますが、やっぱり購入場所が限られているのが買いにくいです。

学年も限られている。こちらの学校では 4 年生からなんですけど、クラブの 4 年生以上は参加の子が今回 1 人とか 2 人とか少なくて、あまり行く人がいないんです。小さいお子さんたちはすごくいっぱいいて、その子たちのお母さん方の声もあって、「私たちの子どもは、違うんですか。手紙が

届いているので、何か入れてもらえるのかなって、ちょっと楽しみにしていた」という方もみえました。

打ち合わせのことですが、児童クラブの職員は児童クラブにいますけども、コーディネーターの方たちが働いてみえて、時間を合わせて打ち合わせする機会が難しい。ラインや、SNS使ってやるしかないんですけども働いているので、なかなか連絡するタイミングが難しいなと思いました。

結局コーディネーターさんに来ていただくという形になってしまうので、コーディネーターさんの負担が多いのかなあと思っています。すれ違いとか、物を買うこととか、最初ちょっと戸惑いもあって、訳がわからないというところもありました。

## 【副島委員長】

物を買うことについては昨年も話が出て、こういうやり方にしましょうという意見が出て、実際使いやすいような形となりました。公金を使うので、これだけは守って、こういう様式で、昨年決まりましたので、それをもとに、基本はできていると思いますよ。

どっちのお金を使えるか、どこでやるかっていうのが、最初が難しいかと思いますが、軌道に乗れば、そんな難しいやり方をしているわけではないと思います。

打ち合わせや横の連絡が、本当に大変だと思います。こうやって集まるっていう会議をコロナになってから、ラインのグループで行っているという話もあるし、オンラインで、できることが、学校含めて幾らでも出てきています。スマホさえあればできるってような仕組みもありますので、必ず集まらなきゃ無理だとか、そういう発想をする必要はないのかなというふうには思いますね。

学校に、よく私も呼ばれて行きますが、タブレットをみんなが持っているんだけど、まだ何か大事なものみたいに使っているなという感じがあって、もっと、普通に使えばいいのっていうような感じがあります。それと一緒に、子どもも1人1台の時代ですから、遠慮なしに、そういう工夫もしてればいいと思いますね。

## 【佐橋委員】

今の物品購入は、私たちもすごく戸惑いがあるって、コーディネーターをしていますけど、今までは放課後の方で準備させていただいたのを児童クラブさんの方で注文してという形になっています。まだ利用はしてないですが今年度開始してないので、でも一応予算がそちらから使われるということと、あと、放課後子ども教室の方で使いたいものを頼むと、すごく時間がかかるので、総合プランをするに当たって欲しいなと思ったら、すごく前から頼まなきゃいけないけど、児童クラブさんから購入していただいた方が、割と早く届くということです。

打ち合わせですが、各学校によって違うと思うのですが、私たちは、放課後子ども教室が終わったら子どもを児童クラブさんへも送っていくので、その時にお話させていただいています。夏や春の児童クラブのバイトに行きまして、顔合わせをさせていただいて、モデル校をやるという前提でそのころから、行かさせていただいてコミュニケーションをとらせていただいています。送っていくと所長先生はもちろん、他の先生たちも合わせて声をかけて、ある程度コミュニケーションが取れているかなと思います。集まって会議っていうのはなかなかないんですけども、大きいスペシャルで、講師さんを交えての打ち合わせの時には、皆で集まりますが、みんなで集まって会議はせず、進んできています。勤務時間も児童クラブさんは昼からみえて、子どもたちが来るとバタバタされているし、コーディネーターは、学校に行くのは午前中の会議の手伝いや報告なので、やはり時間がないので、放課後が終わって、子どもを送っていったときにコミュニケーションをとり、メモを渡したり、ライン交換したりしてもらえたらいいかなあと思っています。

ちょっと困っているのは、やはり講師探しでしょうかね。また何かいいなと思っても時間が合わなかったり、何回か断られて心変わりしたり、今年も同じようなことをやられている先生に探して



いただいたりとかして、ある程度決めてきました。

でも、みなさんの講師などのいろんな資料の方を見せていただいて、今年度いろいろ考えてらっしゃるので、また参考にさせていただきたいと思います。

### 【柿本委員】

講師の方を探していて、たまたま、万華鏡をやる先生のことを聞いて、その方はボランティアで、子どもを教えたいという気持ちを持ってみえるということを知ったので、コーディネーターさんは、お仕事でお話できないということだったので、最初に「私が話をさせていただきました。その時は本当にすぐやっていただけるような感じでしたので、あとは、ラインで連絡して、話を進めて、その時の必要なものの購入も、今回クラブから注文しました。最初にお話した時に、和紙や飾りなど、万華鏡の周りのところを、和紙などで切り紙をしたいと言われて、それで材料を、総合プラン用の費用で買いました。今までの児童クラブで使っていたところを全部探して、物品購入の伺いは、そのまま放課後子ども総合プラン用のものを使って買うことができました。そんなに難しくはなかったです。

コーディネーターさんとの話で、なかなか顔合わせてというのは無理ですが、1時から2時までの間、子どももまだ来ていないので、時間があるので、それで2回とか3回とか話して、あとはラインを使って、打ち合わせしています。

### 【副島委員長】

今までの委員の方々がいるいろいろ苦労しながらやってきて、しかも、この新しい事業ですので、市の方も、もう全部わかってやっているわけじゃない、作っていくっていうものです。市も一緒になって、こういう予算が要るよねとかこういう人がいるよねっていうようなことで、担当のコーディネーターや、そのための予算を作り、ここまでは使っているよとか、いろんなことがだんだんできてきています。だから、今までこういう会だと、市の方が説明すると、そうですかそうやってやりますという感じでしたが、そうではなく、それじゃこういうのがやりにくいねとかいう話を、どんどん出してもらって、少しずつ良くしていくことをやってきたので、ぜひ遠慮なさらずに、ご意見をお願いしたいと思います。

児童館の立場だから、ちょっと違うと思いますが、ちょっと違うから言いたいことが言えるというところもありますので、ぜひ感想でもいいので言っていただけるとありがたいです。

### 【野地委員】

実施されるにあたっては物品購入だとか、連絡調整だとか、大変なご苦労されながら、でも子どもたちの笑顔に繋がる活動というところで皆さん、前向きにやってみるので、本当に頭が下がる思いです。地域にこんなに講師がいらして、今後実施校が増えれば増えるほど、その講師を取り合いになるっていうところでは心配はあるかとは思いますが、ただこんなに地域にとっても子どもに対して、皆さんお力添えをしてくれる方が多いんだっていうのはこの「講師活用一覧表」を見て、思いましたし、また児童、取り合いになってしまうところあるんですけど、子どもたちの体験にも繋がっていいのかなと思って聞かせていただいております。

講師の調整とかいろんな面がありながら進めていただいておりますが、ただ一つ気になったのがこの体験活動に関するアンケートっていうのを取られた時に子どもさんからも意見が出ると思うのですが、そういった子どものやりたいというような、希望がどこまで実施されている中に反映されているのかなっていうのが一つ、気になったところです。

でも本当にいろんな体験ができる中で子供たちもまた地域への希望や、楽しさっていうところに繋がっていくと思うので、今後の動きがすごく楽しみだなと思って聞かせていただいております。ありがとうございます。

## 【副島委員長】

今までの流れという中で少し発言しにくいかもしれませんが、続けて次の2番の方に、最後にまた、いろんな意見があれば、お聞きするということにしますので、ひとまず2番の令和4年度実施以降のスケジュールについて、事務局からお願いします。

## 【事務局】

次の資料「R4 総合プラン実施日」及び「令和4年度総合プラン実施校の計画」をご覧ください。こちらは現段階での令和4年度実施校の6校の今年度の具体的な活動予定となります。

昨年度モデル校として実施いただいた小牧・光ヶ丘小学校以外の学校につきましては、昨年の9月末に、令和4年度からの実施をお願いし、昨年度中も、お試しで合同の体験活動を行っていただいたところもありますけれども、各学校本当に知恵を絞っていただいて、計画を立てていただいております。

「R4 総合プラン実施日」の表につきましては、◎が書いてある日がいわゆる本格的な合同活動と、言っているものであり、上限3万円の講師謝礼を準備しているものになります。○につきましては、通常の合同活動等と言っているものであり、こちらは3000円または5000円の謝礼を準備しているものになります。

「令和4年度総合プラン実施校の計画」の方を見ていただきますと、内容（講師等）の欄にですね、括弧で書いてあるものが講師になりまして、括弧がないものにつきましては、講師をお願いするのではなくて、放課後子ども教室のスタッフが中心となり、実施をする予定のもととなっております。

また本日、配付いたしました、「合同の体験活動の確認について」をご覧ください。昨年度も委員の皆様をお願いいたしましたけれども、合同の体験活動について委員の皆様には様子をご覧いただくことで、本委員会での評価につなげることができるかと思っております。

つきましては、見学の日程を決めさせていただきたいと思っております。9月から10月の中で、各学校、1回程度開催したいなど思っております。また詳細の時間ですとか、場所等は確定してない部分もありますが、決まり次第、改めてご連絡をいたします。なお基本的に参加は任意とさせていただきますけれども、可能であれば、見学に行っていたらなど考えております。

また11月の委員会の際に、その見学をしていただいて、気づいたことなどたくさん意見をいただけたらなど考えております。会場の広さなどにより受け入れられる人数にも限りがある場合がございますので、改めて通知を送らせていただいた後、連絡をいただければと考えております。表の○を書かせていただいているのは従事者として参加するという形になりますので、各委員の方は、要望がありましたらまた教えてください。

## 【副島委員長】

計画がそれぞれ一応できているということで、書かれています。これは計画を立てるまでの間に、結構横の連絡みたいなことは、あったんですか、相談みたいなもの。もうそれぞれのところで、いろいろ考えてやったという形ですかね。こんなものがあるならうちでもやってみたかったというのがあるかもしれないですね。そういうことも含めて、何かご感想があったら、お願いします。これはもう途中で変えてはいけない計画ですか。でももっといいやつがあるようなら、ちょっと中身変えたいということについては、よろしいんですか。

## 【事務局】

予定ですので変更は可能です。

## 【副島委員長】

一度決めたからもう、こっちの方がいい内容が出てきたけどもやれないよねという必要はないということですね。

ただ、もちろんそういう場合は連絡を、事務局やコーディネーターの方に連絡をすることを、ぜひお願いしたいと思います。

自分の学校で計画するプロセスでこういうことがあったんだよねっていう話でもいいですし、他の学校のを見て、こんなのはどこから情報が入ったのかなとか、こういうのもやりたいけどとか、中身で、お金がかかるんじゃないとか、いろいろな考えがあるかもしれないですけどそういうところはよろしいですか、ご意見ありましたらお願いします。

委員の体験活動への参加、ということで、これはまた事務局から連絡していただけますかね。今は、時期を決めにくいところもあると思うので、秋ぐらいになったら、また連絡いただけると、じゃあこれはこれでという話になるのかなあとと思いますのでよろしくお願いします。

次にアンケートについて事務局お願いします。

## 【事務局】

資料3をご覧ください。こちらの資料は、保護者向け、児童向け、従事者向けで3枚あります。先ほどの評価を行うための事業として関係者アンケートを11月頃までに実施することを説明いたしましたが、このアンケートになります。こちらは昨年度も実施しており、基本的な流れは、昨年度と同様になっております。

保護者には、児童の利用事業と、この制度を楽しんでいるのか。家庭で利用事業のことを話すかどうか、放課後子ども総合プランへの賛同の有無、児童に体験させたい活動の内容を聞きます。

児童には、本人の学年、体験活動が楽しかったか、楽しかったと回答した場合の理由、体験活動の時間の長さ、参加回数の希望、今後参加してみたい活動の内容を聞きます。

従事者には、従事している事業、合同の体験活動を児童が楽しんでいただけたかどうか、準備はどうだったか、児童にとって意義があると思うか、望ましい回数、その他自由意見を聞きます。従事者の質問の3についてのみ、昨年度と回答の選択肢を変更しております。

アンケートの実施時期としては、2学期に行い、まず実施校の予定に合わせて、1回から2回行います。対象者としては、アンケート実施日の合同体験活動に参加した児童、但し、アンケートの記入がまだ難しいと思われる一年生を除きます。それから合同の体験活動に参加できる可能性がある2年生以上の児童クラブ通年利用児童の保護者全員と、放課後子ども教室の現の登録児童の保護者全員、さらに、児童クラブの通年の従事者全員と放課後子ども教室の従事者全員とします。

配布と回収は、児童は合同体験活動の場で配布回収し、保護者は郵送でのやりとり、従事者は合同体験活動の場で配布し、回収は、児童クラブ、放課後子ども教室それぞれでまとめ、後日回収します。

委員の方から児童へのアンケートについてやりたいことがかなうのかというお話が出たと思うんですけども、昨年から開始したものでありまだ実現にはいたっておりませんが、今後、プラン実施の参考にさせていただければなと思っております。

## 【副島委員長】

アンケート等についても、これまでに、これじゃ答えにくいねとか、こういうのにしたらとかいろいろやってきてはいますが、なかなか決定版が出てないんですよ。もうちょっと親しめるようなやつがないかなとかいろいろやりながら、やってきたのが、これなんです、今年はこの形で、今のところ考えているということです。見ていただいて、或いはこれまでアンケートに答えたりなんかしたことがあるけど、こういうふうにした方がいいんじゃないかとかこういうのはすごく、答えにくかったとか、この辺で困ったとかそういうことがあったらぜひ出していきたいと思いま

す。

### 【柿本委員】

アンケートの中の、1年生を除くアンケートということです。1年生は難しいんですけど、光ヶ丘は、放課後子ども教室が1年から3年までを対象に集めていって、それに対応して、児童クラブの子どもを連れていくし、全体の人数も制限があるんですね。50人までとか、40人とか、そうするとアンケートに答えるのが、少なくなります。1年はアンケートに答えられないから参加させず、2年以上しか選べないとか、そういうのは変ですよ。

それで、対象が1年から3年までで、1年生をたくさん連れて行きたい、レクリエーションとか行きたいなと思っても、こういうアンケートがここで書いてもらわなきゃいけないっていうふうになっていたときに、1年生を多く連れていってしまったら、アンケートを書く人が数人になってしまったりするんですけど。

### 【竹脇委員】

うちも1年だけという、参加の形がすごく多いので、放課後子ども教室が1年2年だけ対象なので、割と大きな児童クラブですので、1年だけの参加でという人数制限をしてる活動があります。そういった場合、1年生は書けないとなると、アンケートゼロになるんですけども、どうしたらよろしいでしょう。

### 【副島委員長】

アンケートのために実施をするわけじゃないので、やった子の意向がわかるようにするということが一番大事だと思うんですね。例えば、先生が横で読み上げて、楽しかったか、楽しくなかったか、どちらでもなかったかを書かせるとか、いろんなやり方があると思います。手を挙げてもらって数えても別に構わないし、結果がわかるということが大事で、これを配って書いて回収してっていうのが目的ではないので、子どもたちの反応どうだったかなとか、もっと他にこういうこともやってみてみたいっていうのは、口で言ってもらって先生は記録しても別に構わないと思います。

### 【事務局】

今アンケートについてというところですが、委員長がおっしゃられたように、体験活動に参加してもらって、じゃあどうだったのっていうところの結果がやっぱり欲しいので、体験活動に参加した結果が欲しいというのは変わらないです。

例えば昨年度もアンケートを実施していただいて、その時にも、あなたは何年生ですかっていうことも分類して出していますので、例えば去年ですと小牧小学校さんだと学年を限って、この体験は1年生とか、この体験は3年生以上とかいうふうにやっていますので、たまたまそこに参加する子が1年生だけになっちゃっても、1年生の参加したこの意見ということで、こちらには集約をいたしますので、体験した子の意見をいただければと思います。

本日お配りをしております、4ページの下の方に（アンケート結果の総括）というような言葉で、昨年度アンケートした結果はここに載っています。ただ、ここには昨年がないので、ちょっとわかりにくいかもしれませんが、今回実施していただくアンケートの結果に基づいて、またこういったことも取りまとめていく形になります。それはそれぞれの立場でご意見をいただければと思っています。

### 【副島委員長】

せっかく実施したら子どもたちの反応がどうだったかということを知りたいというのが目的です

ので、お願いします。

### 【中川委員】

何年間か、この会に出させていただいています。やはり、コーディネーターの方の負担っていうかお気持ちとしても負担がやっぱり大きいかなあとと思います。私もたまたま親族にコーディネーターがいるので、よく話を聞いています。ちょっと少しでも子どもの役に立てればっていう気持ちでコーディネーターを始めたんだけど、だんだんお話が大きくなってきて、できるかなって不安がすごく高くて、ドキドキしてるっていうようなことを聞いています。

でも年々、児童クラブの先生もすごく、こうやってやっていくんだなということわかってくださって、先ほどの光ヶ丘小の例のように児童クラブの先生からも動いていただいたりとか、そういうことがすごくいいなあとということを思っています。一番はやっぱり無理をせず、SDGs じゃないですけど続けていけることが、一番いいかなと思うので、一生懸命やって1年間はやったけど、もっとネタが尽きて次の年からできないってなっちゃうと、やっぱり子どもたちにとっても、すごくもったいないことなので何か講師さんと呼ぶのもいいんだけど呼ばずに今まで、それぞれがやってみえた普通の放課後の活動も大事にさせていただきながら、やれるといいなあと思っています。本当にコーディネーターの先生の方々ご苦勞様ですね。アンケートの方も、すごく改良されて、子どもたちが答えやすいものになってるし、例とかもつけてくださってるので、1年生でも2学期からは多分対応できるし、先ほどの話で手を上げたりとか、理由は書かなくていいよとか、そういう感じでやられたら1年生に答えられるかなって思いました。ありがとうございました。

### 【岩瀬委員】

講師選びが大変だという話をお伺いしました。各学校でおそらくPTAの活動で、親子がそろって何か講座を体験するような、そういうイベントがいろんな学校でやられていると思います。そういう方に、声掛けしてみると、案外「いいよ」っていうこともあるかなと思いますので、その学校の教頭先生に相談してもらおうと思います。

### 【西澤委員】

自分が見ている範囲でしかわからないんですけど、本校の放課後子ども教室は、大体3時少し過ぎぐらいから始まって、4時半頃に子どもたちが帰るんですけど、そのあと6時前ぐらいまで、次回の打ち合わせなのか、今日やったことの反省会なのか、スタッフの方が打ち合わせをずっとして見えるんですよ。すごい大変だなと思って、自分も準備だとか、それからこういう施設借りれますかとか、今日の活動写真があるのでホームページに載せてくださいとか、そういうお願いがあれば、できるだけ気軽にやりますって言って、無茶ぶりはされないんで、二つ返事でやるんですけど、どの小学校の教頭も多分、快くいろんなことを引き受けて、できる範囲のことで引き受けられることがあると思いますので、気軽に声をかけていただければいいかなと思います。よろしくをお願いします。

### 【渡邊委員】

今年から活動が始まるということで、まだ本当に手探り状態で、どう進んでいくかは心配ですが、児童クラブの先生もお話をいろいろ聞いてくださって、ただ日々の仕事が多分児童クラブは毎日でもとても大変だと思います。なので今年はちょっとこちらの放課後子ども教室の方でいろいろと決めさせていただいて進めているので、その辺を児童クラブの先生がどう思ってみえるかなっていうのがちょっと心配な部分があります。

大きな合同の活動ですけど、児童館の館長先生と一緒にお話の時に来てくださいます、そちら

の先生からご紹介していただいた大道芸の方が快諾してくださいましたので、2学期に全児童で、その大道芸を見れるかなと思って、こちらの方も楽しみにしております。またいろいろご意見あったら聞きたいと思いますよろしくお願いします。

### 【坪内委員】

私どもの方も今年度から初めてです。昨年度、1回だけお試して、児童クラブの方全員と、子ども教室全員でやらせていただいたんですが、もう1人のコーディネーターのご紹介で、講師さんと呼んで実施しました。ですが、ただその方が、いろんな活動をやってらっしゃるのに、見に行っていなかったんですね、打ち合わせはさせていただいたんですけど、実際やってみたら思うようにいなくて、いっぱい課題が出ました。そうなったときに、こういうふうにやればよかったかなということが幾つかわかったので、それはとても勉強になりました。今年度はとにかく1回だけというわけにはいかなかったんで、まずは、今、昨年度までずっと長くやっていたものを児童クラブと一緒にやった上で、いろんなことに取り組んで、順番でやっていけばいいかなと思っています。また皆さんの意見をいろいろお聞きして、来年に結びついていけるようにやっていきたいと思っています。今日はありがとうございました。

### 【中島委員】

母親代表の中島です。うちは子どもが3人いるんですけど、この児童クラブや放課後子ども教室に参加をしていなくて、いただいた資料とかを読みましたが、読んでもよくわからないなあっていうところが多かったので、次のこの会で、貢献できるようにします。

### 【森委員】

母親代表の森です。  
うちも子どもが2人いるんですけど、児童クラブも放課後子ども教室も行かせたことがないので、実際何をしているのか全然わかってないので、私もよくわからないことだらけなんですけど、先ほど言われたユーチューブとか、他の学校の活動を見ていろいろ勉強してしていきたいなと思っています。

### 【野地委員】

児童クラブと放課後子ども教室で、子どもが小さいころには両方ともお世話になったんですけど今みたいな形では行ってなかったんで、今回初めて概要がわかったという感じです。でも向いてるところは皆さん「子ども」というところで、児童館としても、日々、子どもを真ん中に置きながらいろんなことに取り組んでいるので、そういった視点から、いろんな情報提供もできたり、一緒に考えていけたら、私たちの活動にもいろいろ反映できる場所もあるなと思って聞かせていただきました。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

### 【副島委員長】

小牧市は児童館も結構いろんなところにあって、管理委託みたいな感じでやってるところですね。だから、ちょっと違った立場から、民間の方の立場っていうのもあるもんだから、ちょっと違う視点が、期待できるかなと思って、昨年度から児童館の館長さんも入っていただくというような形になっています。もちろん、児童館によって考え方が違うと思うんですけどまあ、要するに仲間内だけでやっているのと、だんだん煮詰まってくるから、ちょっと違う発想もいるかなあということであっていただいているので、よろしくお願いします。

### 【柿本委員】

先ほどはちょっと私が活躍したようなことを言いましたが、本当にコーディネーターさんが大変なので、何かお手伝いしたいという形でさせていただきました。

### 【竹脇委員】

初めて参加させていただいて大変勉強させていただきましたありがとうございます。去年お試しでやらせていただいて、講師の方からいろんな豊かな経験を、子どもたちが受け取るのが趣旨なんだろうなと思いつつ、夏休みにやった工作などをそのまま引き継いで、コーディネーターさんと相談をしてお店屋さんをやったことがとても子どもたち楽しそうでした。先ほど中川先生も普段の活動を、大事にということでおっしゃっていただいたので、また今年もそれを引き継いで、ちょっと頑張ってやっついこうかなというふうに、お力をいただきましてありがとうございます。またよろしく願いいたします。

### 【近藤委員】

今日はありがとうございます。コーディネーターさんと接点がほとんどなかった児童クラブだったので、どういう仕事をして、どういうふうに、皆さんが頑張っていて、その活動の前後がわかるようになってきたってということがとても大きかったかなと思います。コーディネーターさんの方も児童クラブの中に入ったことがなかったので、こうなってるんですねとか、こんなお部屋なんだとかいろいろ物がありますねとか、やっぱりお互いのことを知る機会になったということがとてもよかったと思います。また、他にもスタッフがおりますので、そういう方々も一緒に参加できるように考えながら来年うまく回るように、協力していきたいなと思っています。お願いします。

### 【山田委員】

この表のところで、真ん中に放課後子ども総合プランコーディネーターと書いてあり、昨年配置できました。何か困ったことがあったら、お願いするという方ですので、ぜひ困ったらご相談ください。

### 【副島委員長】

ありがとうございます。こういうふうに、なかなか違う立場だと、会える機会がないので、そういう意味では、貴重な機会だと思いますのでいろいろご意見を言っていただいて、いろんなことがわかりますよね。

だから逆に言うと、どうして私たちのことをよく理解してくれないんだろうなんていうことではなくて、こういうふうなんだよねっていうようなこともあって、初めてうまくいくということかなあと思います。今年度もこんな形でやっていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

### 【事務局】

それでは次第の5、その他ですが、次回の委員会につきましては、11月ごろ開催をさせていただきます。日程及び場所につきましては後日ご連絡をさせていただきます。

また、議題の中でもございましたが、合同の体験活動の見学につきましては、詳細が整いましたら、ご案内をさせていただきます。なお、11月の会議では、2学期に実施したアンケート結果と、皆さんに見ていただいた合同体験活動の感想などをお伺いしながら、意見交換をしていただいて、今後につなげていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、先ほど会の中でも委員長の方からお話ございました、今年度から6校実施ということでこの事業を進めて参りますが、まだまだ手探りなところもございます。様々な立場の方がお集まり

いただき、この会議の中で、ご意見等いただきながら進めていきたいと思しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それではこれをもちまして、令和4年度第1回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会を閉会とさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。